

平成29年度第1回天童市総合教育会議議事録

総務部総務課

- 1 日時 平成29年10月20日(金)
午前10時30分から午前11時55分まで
- 2 場所 本庁舎「3階会議室」
- 3 出席者
 - (1) 出席構成員
天童市長 山本信治 教育長 相澤一彦
教育委員 井上正信 教育委員 大貫紀代子
教育委員 本田孝之 教育委員 村山晴香
 - (2) 説明のため出席した者の職氏名
教育次長 佐藤雅 学校給食センター所長 萩生田伸悟
学校教育課長 江川久美子 生涯学習課長 武田文敏
教育総務課課長補佐兼庶務係長 矢萩茂
 - (3) 事務局職員の職氏名
総務部長 武田淳 総務課長 森谷倫祥
総務課課長補佐兼行政係長 佐藤貴宏
総務課行政係主査 丸子正彦
- 4 議事録署名員
教育長 相澤一彦
- 5 次第
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ
 - (3) 協議・運営事項
 - ア 天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について
 - イ 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について
 - (ア) 全国学力テストの結果をめぐって
 - (イ) 部活動の現状と課題について
 - ウ その他
 - (4) 閉会

6 会議の内容

発言者	発言内容
佐藤課長補佐 (司会)	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>(1) 山本市長あいさつ</p> <p>(2) 相澤教育長あいさつ</p> <p>3 協議・調整事項</p>
山本市長	<p>それでは議長を務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>まず、天童市総合教育会議運営要綱第4条第2項の規定により、議事録署名員を指名させていただきます。</p> <p>相澤教育長にお願いしたいと思います。</p>
相澤教育長	<p>はい。</p> <p>(1) 天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について</p>
山本市長	<p>最初に、「天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について」説明を求めます。</p>
佐藤教育次長ほか	<p>(天童市教育大綱に基づく施策の年度上半期の総括について説明)</p>
山本市長	<p>今上半期の総括について色々説明がありましたが、皆さんの方から何か御意見・御質問がありましたらお願いします。</p> <p>(意見なし)</p> <p>(2) 教育委員会として今後重点的に講ずべき施策について</p> <p>次に、「教育委員会として今後重点的に講ずべき施策についての「全国学力テストの結果をめぐって」について説明を求めます。</p>

江川学校教育課 長	(全国学力テストの結果をめぐってについて説明)
山本市長	続けて、「部活動の現状と課題について」説明を求めます。
江川学校教育課 長	(部活動の現状と課題について説明)
山本市長	今説明がありましたが、御質問・御意見がございましたらお願いします。
井上委員	<p>学力調査の件で、子どもたちは頑張っているようですが、特に気になったのが、文章表現力について指摘があったことであります。今10年ごとに教員の免許更新がありますが、そこに作文を書くところがあります。それを見ると若い教員ほど文章表現力が落ちていると言われております。これは、社会の動きと歩調を合わせております。生活の中で文章を書く時間と場面が非常に少なくなっている。この間授業を見せてもらい機会があり、先生方は非常に頑張っていらっしゃるのですが、少し気になったのが、サアッとなぞっていく授業をされていたことでした。これでもかこれでもかという、子どもたち一人一人に強く関わっていないような気がしました。自分の経験ですが、自分も現役時代、20代から30代の頃、あの頃もう既に学力テストはありましたけれども、隣のベテランの先生にいくら頑張ってもかないませんでした。後で考えてみると、そのベテランの先生というのは、これでもかこれでもかというふうに一人一人の子どもに関わっているのです。それが子どもたちの力になっていっているような感じがします。私たちができることというのは、お父さんお母さんに頑張らなさいということも言えますけれども、やはり学校での先生方の授業を変えていくことであると思います。新聞にも載っていましたがけれども、主体的に考える前に、考えるための力が必要なのではないかと。例えば、語彙力や、作文を書く場合にも作文を書くためのスタイルなどは、今授業の中でほとんど教えていないような気がします。そういう</p>

	<p>基本的なことを教えていかないと、いくら頑張っても子どもたちになかなか思考力を高めるための能力は育っていかないのではないかと思います。教育委員会で取り組んでいる授業改革の中にそういうこともあるのですが、子どもが違っているので、昔のままの指導法ではいけないと思います。そのところを考えた指導法の研究を一層学校でやっていただきたいと思います。</p>
山本市長	<p>相澤教育長は今の発言についてどう思われますか。</p>
相澤教育長	<p>全くそのとおりだと思います。昔の教員はよく「分かったか」と聞きます。「はい、分かった。AはBだよね。」ということではなくて、これからの教育で大事なものは、それを使って何かできるようになるということ。そのことが大事なんですけれども、何かできるようになる授業が染み透ってないというか、つまり、教えたけれども子どもたちが学んでいないというようなことになっているのではないかと感じたところです。ただ、井上委員の言葉に付け加えるなら、実はそういうような授業を先生方はしたいと思っているのです。だから、話をさせていただくのですが、その話合いの質がそういう高まったものになっているのかというと、そうはなっていないということがあるのです。考えて学んで見つけて使えるような厳しさがあるか、教科の中身にふさわしいものになっているかというところが非常にその部分が足りないのではないかと感じるところです。十分な厳しい授業、井上委員がおっしゃった厳しい授業が足りない。スタイルは非常に子どもたちを高めようとしている、だけど、その課題が適切ではない。それでは質が高まっていかないのではないかと思います。</p>
山本市長	<p>他にございますか。</p>
本田委員	<p>学力調査の中でも話がありましたが、天童市の家庭学習の時間が少ないというところに相反して、テレビの時間が長いというところが出てきております。この地域的な特色というものがどこから来ているのかということについて、この場だけではなくて色々な場面を調査していかないと、このとおり</p>

	<p>家庭の時間だけでこれだけ違っていると差が出て当たり前だと思います。また、予習学習という面も学校でしたことが身に付くかどうかは、家庭に帰ってからのことでも大きな影響があると思います。この違いは、どのようなところからこういったことになってくるのか。ここだけの問題ではないので、その辺までも考える機会が色々な部署部署であると、色々と使わせていただくところが色々出てくるのかなと考えたところでした。この傾向というのは昔からではなくて、突然このようになったのですか。</p>
山本市長	<p>その辺はどうなのですか。例えば昨年度も調査していて、積み重なっていると思いますが。そのような流れの中で今のこの現状というのはどうなのですか。</p>
江川学校教育課長	<p>傾向は、ずっとこの傾向です。家庭学習を全くしていないのではないのですが、30分から1時間程度しているという子どもが一番多いです。ただ、全国ではもっとまとまった時間、2時間以上、休日はそれ以上と、割とまとまった時間やっているという子どもの率が多いのですが、天童市はその子どもの率はとても少なく、30分から1時間ぐらいが多い。傾向はずっとこのようなものです。</p>
相澤教育長	<p>酒田市に3年間勤務して、新庄市にも3年勤務したのですが、スマホの話が天童市ほど出るところはありません。例えば、極端な話になりますが、新庄市では私がいた頃は、中学生はスマホを持たないようにしようという運動さえありました。天童では、スマホを中学生が持たないようにしようという話は全然出ませんね。スマホは必要なもので、使い方を指導しましょうと。それが良いか悪いかではなくて、天童の子どもたちは親御さんも含めて、「必要だから使い方だよね。」と言うのです。新しいものに飛び付いたり、現代的なところを取り入れようという進取の気質というみたいなものを天童市民にはとても感じます。私の実感としては、天童の子どもたちも親御さんも新しいものは使わせる、その指導をお願いしたいというふうで、やっぱり使い方を指導していくということが大事なのだと思います。</p>

山本市長	他にありますか。
大貫委員	<p>今の話に関連してなのですが、学習の時間に関して子どもたちではなくて御家族の考え方というものを学校で聞くことはありますか。どのような状況で学習していますか、どのぐらい学習していますかということ。また、学校の方から家庭学習を充実していくためのアドバイスみたいなものはしていますか。</p>
江川学校教育課長	<p>今こういう状況もありますので、どの学校でも家庭学習の手引は作っております。それでこのようにする、各学年×10分が基本的に理想的な時間ですなど。あと、ノート<small>掛ける</small>の使い方や、復習する場合にはこんな方法を採用といい、というようにきめ細やかに手引は出しております。ただ、家庭でどうなっているかというところまではちょっと私の段階では分かりませんが、お願いはしております。子どもたちの提出物によって学校が判断をして、個別に指導が必要な場合は指導している状況です。</p>
山本市長	<p>では私からも。「部活動について」というのは先生方に対するアンケートですよね。先ほど江川課長から多少の違いはあるけれどもと話がありましたが、結構数字的に問題があると思います。例えば、ある中学校のところでは、半分以上がそうは思わない、どちらでもないという数字が出ているわけです。ただ、少なくともこのアンケートは、全員の先生が参加しているわけではないというようですね。アンケートを全員に送ったけれども出さない先生もおったということですね。</p>
江川学校教育課長	そうですね。
山本市長	<p>私はその辺にも問題があると思うのです。教育委員会がやることについて強制的なものはないと言いながらも、そういうことも一つ大きな課題があるなと思っておりました。それから、例えば、ICTの教育がありますが、今後タブレット端末で毎年お金を掛けていくと。これは良いのです。ただ、</p>

国の指針では、3. 5人くらいに1台置きなさいということがあると思います。そうすると相当な金額がこのICT教育に掛かります。他の自治体でやっているところについては、結果などがまだ確立していないということですが、もうそのようなことを言っている時代ではないのです。我々できちんとやって結果を出していくと。このICT教育については相当の金額を投資していかなくてはならないと思います。そうした場合に市民にも理解をしていただくことが大事だと思います。そうした場合には、成果をきちんと見えるようにしていかなければいけないと思います。その成果が見えて初めて市民の皆様にも納得していただける。こういうことが恐らく出てくると思います。ですから、我々はここできちんと成果を出していくことが非常に大事なのだと思います。今後、特に教育関係に力を入れていこうと私自身も思っているわけですが、今どこの地域も課題は教育だと思っています。これだけ人口が少なくなっている。そうすると、やはり人の問題が一番大きな問題となっているのです。ですから、天童だけが教育に力を入れているということではないのです。他の自治体も相当のお金を投資しながらやってくると思います。そうした場合には、学校の経営者という立場の校長先生に経営者として結果責任を取ってもらわなくてはならないという時代が来ているのです。その辺のところの結果的にアンケートにも意識のずれとか様々なものが出てきている。例えば、先ほど課長が言っていた思考力を高める授業の改善には、先生がもっとしっかりとした課題を持つことも大事だという部分がありました。今山形県全体で、例えば、教師の数とか顧問の問題がありますが、本来これは山形県教育委員会の責任であると思います。ところが、そこまで手が回らないものだから、自治体が色々な手立てでALTを増やしたりしている。本来ALTなんてものは向こうで全部派遣するべきだと思います。ところが、そうでない状況となっていて、自治体でやらなければいけないこともたくさんでてきたと。ですから、誰がやるとか誰がやらないという問題ではなくて、これはやはり教育委員会とか市長部局なんていうのは取り外して我々がやっていかなければならないということをきちっと自覚をしてこの問題に対して対応していくことが大事だと思います。あと一つは、来ていただいている先生がきちっとやっ

<p>相澤教育長</p>	<p>ていただくこと。そのためにもう少し教育委員会として学校の経営に関わっていく必要がある。ところが、現状として、通知はするけれどもそのフィードバックというものがあまり感じられない。そのようなことも含めて一つその辺は大きな改善していくところでないのかなと思いました。これは説明を聞きながらずっと思っていました。私の意見について、相澤教育長どうでしょうか。</p> <p>私は基本的にそうだと思っています。弱い子どもたち、いわゆる一人一人のニーズに合った障がいを持った子どもたち、そういう子どもたちを大切にしてきたというそのことは堅持しながら、鍛えていくんだという部分も頑張っていきたいと思っています、ICT等に取り組んでいるのです。また、実は英語の問題にしても、英検は本来個人個人で受けるのに、教育委員会ですいぶん積極的に色々しなければならなくなったという現場の声を聞いております。けれども、これは子どもたちのためにしなくてはならないということでやっていただいております。この部活動のアンケートも初めて取りました。教育委員会が把握し、施策に結び付ける必要があるということで、忙しい中で書いてもらったということもあります。教育委員会も子どもたちへの教育の質を高めるためには、少し踏み込んだ指導をさせていただいており、その際は理由をしっかりと表明しながらしていかなければならないというようには考えているところです。</p>
<p>山本市長</p>	<p>例えば、タブレットを導入すると子どもたちは楽しい、おもしろいという結果は出るのですが、その先の部分はどうなるのだと。私は寺津でやっていることについて、本当に評価が出せるかどうか。やはりもっと何かに展開していかないと、こういうものについては、きちっとした成果が出せないと思います。ですから、お金が掛かります。お金が掛かるから成果を求められる。楽しい、おもしろいという部分の先に行ったところに。教育の学校経営をうたうわけですから、結果責任というものをきちっと評価していかなければならない時代になってきているのではないかと思います。また、運動クラブの顧問の話にしても、学校の先生のOBの方を対象として外部にお願いしたいと。教育委員会で誰かを探してき</p>

相澤教育長

て、そこに割り当ててるのですが、本当に顧問としてきちっとやっていける人をそれぞれの学校にきちっと置けるのかどうか、やっぱりそこまできちっとしていかないと。何かこう先生たちの要望があるからそこに置いた。結果的にその成果というのが分からない。特に人としてですから、物買ってきて建物作るのとは違って、なかなか評価を下すのが大変です。ですから、この教育というのは、その部分が非常に見えづらいところなのですが、今からそういっただけでは、通用しないと思います。ですから、そういう部分も含めて、校長先生たちにはもっともっとリアルな部分での対応というものが求められてきていると思います。

そのことについていいですか。今施策の構造をどう考えているかという、ここにあるような学力を付けることが求められているということは、相当授業を工夫しなければならなくなつたということです。覚えてくるように言って、100点取った、OK、ではなくなりました。だからこそ私は、安易に点数では比べられないのですが、学力学習状況調査で天童市の点数が上がってきたというのは素晴らしい説明になると思います。そのためには、やはり中核となる授業について教職員が十分時間を掛けて教材研究し、子どもたちに当たってもらいたいというのが思いなのです。小学校もそうですが、特に中学校でどういうところに先生たちが時間を使っているかという、終わりの会が終わると、全員がグラウンドとか体育館に行って部活動の指導をしています。なぜかという、先生が居ないときに怪我をしたりすると、大問題になるからです。だから、教職員一斉にグラウンドや体育館に出ています。昔と違って。だから、そういうことをフォローしていただく中で、教材研究をしていただきたい。教育論の中身で、点数だけで学校を比べられると私は苦しいのですが、でも天童全体として成績が上がっている、考えなければいけない授業の質が上がっているからこういう難しいテストの点数も上がってきていると言えるようにしていきたいという思いでいるところです。それは、非常に説明が付く。保護者、一般市民には、その方が分かりやすいと思います。ただ、来年何点、再来年何点上げろと言われても難しい問題があるので、そういう土壌づくりについて、ビジョンを持ってしてい

<p>山本市長</p>	<p>きたいというような思いではおります。</p> <p>先生が現場で非常に朝から夜遅くまで忙しいというのは我々も分かります。だから、先生方が長時間エネルギーを使ってやって、くたくたになって家に帰って、次の日また。このような繰り返しの中で本当に子どもたちの実のある部分が育つのか。要するに、物理的にも不可能な状況をつくっている感じがするところです。ですから、やっぱりそういう部分でのサポート体制をきちっとしていくということは、今の顧問の話ではないけれども、例えば、教職員が居ないところに行って事故の無いように指導していただいたり、そのスポーツだけではなくて、全体的なところをきちっとやるというような顧問制度とすることなど、そういうものも含めてもう少し話し合わないと。今のような話であれば、積極的にその制度を進めるべきです。そして、少しでも先生方の負担を軽くして、違ったところに力を入れていただけるものをつくってあげる、そういうことになると思います。</p>
<p>相澤教育長</p>	<p>その裏ではないのですが、ある中学校のデータがちょっと違ってきますよね。私がこれを推測するに、実はその中学校は部活動が大変盛んです。そうだとすると、教職員に無理があったり、別な練習したいのだけれどもということがあるので、そうは思わないと回答した率が高いのではないかと思います。その辺のところについて、教育のための部活動であると思って、あともう少し授業について力を入れられれば私は良いのではないかと思います。ただ、これはやはり行政として選択をしっかりと教職員に示すことが大事です。方向性はこれで行くんだということを私たちは示していきたい。だから、勝つのも大事、オリンピック選手を育てることももちろん続けていく、だけど、それは学校の中でだけできることではないのでね。では、学校の中で何ができるのだという、やはり授業。学ぶことが楽しい、力が付いた。これは手放せないと思うことが一つです。あとは、ここでは表面的なことだけ話すと教育が駄目になっていくと思うので、正直なことを話すと、私は、寺津の成績が上がっているように感じます。ICTを導入してまだ1年半くらいで、その辺は安易に言えるかどうかは分からないのですが。</p>

江川学校教育課長	<p>全国学力調査は6年生だけで測るものなので去年と今年で比べられないのですが、寺津の結果は全部全国平均を上回っています。今回のICTもデジタル教科書を使っているのを見ると、先生よりも力を付けていて、先生こういうふうになると良いよ、という場面も見受けられました。</p>
山本市長	<p>楽しいという要素は、非常に教育としての大きな武器になると思います。要するに、楽しいと黙っていてもするのです。だから、それは機械を操作するのが楽しいということだと思います。寺津は一応タイムリーな部分でやることができたけれども、今後全体的にしていくにはもう少しトータルの、大きな部分での判断材料を持つ必要があるだろうというようには思います。</p> <p>他にございますか。</p>
村山委員	<p>先ほど自主勉強の話が出ていたのですが、うちの子どもも自主勉強をやらなくてはいけないのですが、見ていると何をどのようにして勉強したらいいのかが全然分かっていませんでした。学年^{掛ける}10分だからやってみて、と言っても何をしていたのか分からない感じでした。私が一緒に隣にいて、プリントを書き写して、これぐらいやってみると学年^{掛ける}10分くらいになるのではないかと声を掛けてあげるとそれなりの時間出来たので、やはりお母さんが一緒に頑張って見てあげるといいう時間も必要なのではないかと思ったところでした。</p>
江川学校教育課長	<p>ありがとうございます。子どもたちがやってきたものについて、教員がちゃんと責任を持って全部コメントするとか、丸を付けるとか、評価をして頑張ったなどと言って返すってところに教育の効果があると思います。ただ、宿題やノートを集めて教員がそれをその日中に見る時間がなかなか無いというのが実は現状です。給食も飲むように食べながら書いているという現状もあるので、そういうところも教育委員会としても学校に寄り添ってもっとよく見て、家庭学習の仕方や指導は改善をしていかなくてはいけないとは思っています。ただ、御家庭でそういうことがあると一層子どもは育つと思うので、そういうところは協力しながらやっていけたらと思い</p>

山本市長	ます。 他にございますか。 (意見なし) (3) その他 4 閉会
------	---